

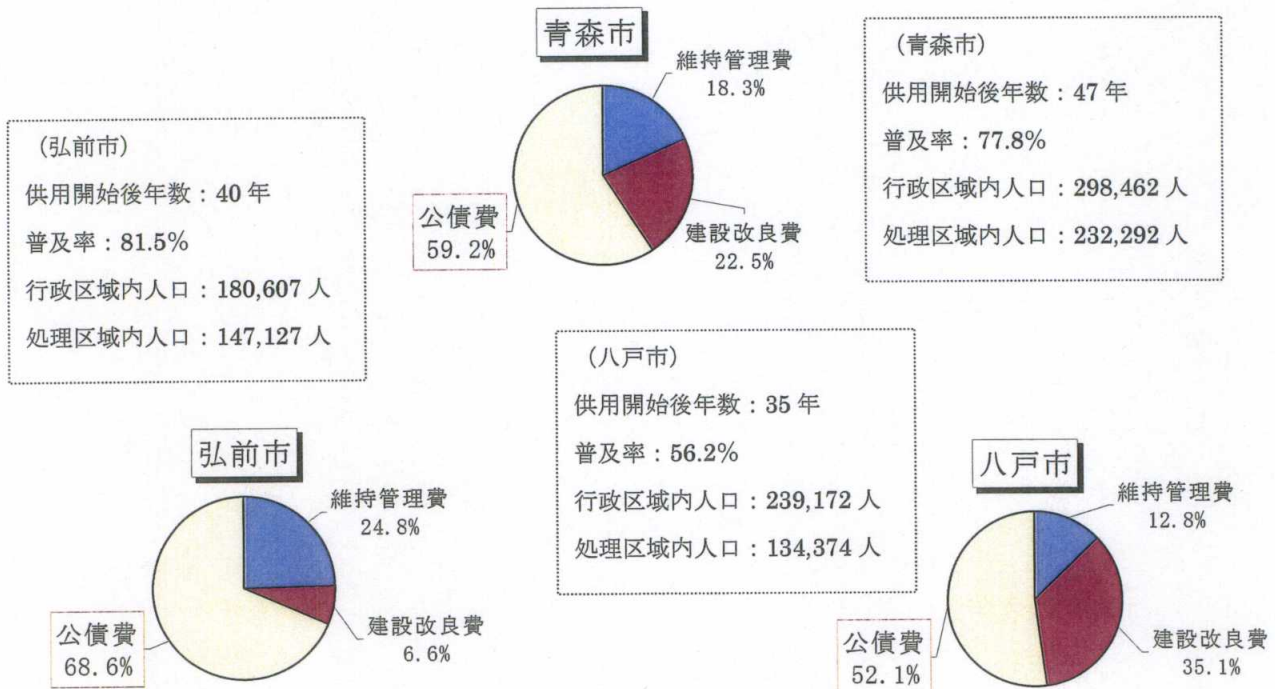
青森県内3市における下水道事業公債費比率の比較

青森県内3市（青森市、八戸市、弘前市）における費用の内訳を比較した。
 ※ただし、弘前市は企業会計であるため、非現金支出である減価償却費などを控除している。また、維持管理費の一部にかかる消費税が控除された数値である。

（単位：千円）

	維持管理費	建設改良費	公債費	費用計	使用料収入
青森市	1,899,043	2,331,209	6,141,011	10,371,263	4,202,451
八戸市	1,341,187	3,693,706	5,485,662	10,520,555	2,287,277
弘前市	1,505,806	400,670	4,170,198	6,076,674	3,038,485

（平成24年度地方公営企業決算状況調査より）



3市を比較すると、弘前市が一番普及率が高いこともあり建設費が少なく、八戸市は反対に、整備途上であるため、建設費の割合が高い。バランスの上では、青森市は、その中間に位置している。

費用内訳の割合は、供用開始後年数及び普及率によると考えられるが、いずれの市も公債費の比率は50%を越えており、下水道事業の構造上、他都市においても同じような状況である。